



教育センター・育成センター所報

2007年3月号



ダイヤモンドソウ

GALILEI

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シス
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

3月号 CONTENTS



今月の巻頭言 「あなたは、どのような子どもを育てたいのか」 教育センター運営委員 橋爪 一彦	1
18年度事業運営の課題と展望	2
19年度事業運営の基本方針	5
ご協力に感謝・所員一同	6
教育センターたより	
アクセス（教育研究班・情報教育）	8
柏崎地域素材デジタルコンテンツ・コンテンツサーバー情報・サポート情報他 プロジェクト K（科学技術教育班）	12
事業報告(教職員理科研究発表会)・1か月早い春(早春の花) 心の窓（教育相談班）	14
18年度総括 - 教育相談班の本年度の活動 - ・3月の予定 プラネット（視聴覚ライブラリー）	16
教材機材の利用に感謝・18年度教材貸出ランキング	
青少年育成センター通信	18
3月の予定・ノーテレビ,ノーゲームデー実践後のアンケート・育成座利用のご案内	
センター点描	24
STS 教育って何?・オリオン座から出発だ	
所員随想「つれづれ」	25
「あたたかい言葉」教育相談班カウンセラー助手 松田 典子	
新聞記事の紹介	
マダガスカル鮮やかに	26
教育センター3月の予定	27
2月の教育センター利用状況	



かつてない大暖冬で2月に柏崎の市街地で雪が見られないのはどうしたことでしょうか。世界各地でも異常気象が見られ、大干ばつ、大洪水、ハリケーンの暴威など人間の生活を脅かしています。地球温暖化が予想以上に早く進み、国連の IPCC では百年後の上昇気温を 6.4 度と上方修正しました。地球温暖化と環境破壊の急速な進行、地下資源やエネルギー資源の枯渇の問題は、長い人類の歴史からみれば喫緊の課題です。このままでは大変なことになり、孫の代、曾孫の代には地球上で生活することがかなり困難になると予想されます。

私たちはこれまでの大量生産・大量消費の考えや習慣を根本から変える必要があります。日本人の大部分はあふれ返るほどの物や無駄にしている食料など、あまりにも資源を無駄遣いしています。企業の原理では、消費の需要があるから大量生産して

若葉抄

安く供給しているのですが本当にそれでいいのでしょうか。資源もエネルギーも食料も有限だということは分かっているが、便利・快適・贅沢に慣れてしまって、消費を抑えることはなかなか難しくなっています。しかし、私たちは今、決して放って置けない重大な局面を迎えていることも間違いのない事実です。

このことを世界の人々が共通に認識し、経済成長を落としてエネルギーの消費を抑え、節約と資源の再利用を強力に進めなければなりません。温暖化防止や資源の再利用には莫大な経費がかかりますが、地球に生きるこれからの人類にとって、それは甘んじて受けなければなりません。

地球環境を維持しながら人間が心豊かに暮らしていくために、学校において環境教育とエネルギー教育をより積極的に推進する必要があります。(種)

今月の巻頭言

あなたは、どのような子どもを育てたいのか



教育センター運営委員 橋爪 一彦
(北条中学校長)

1月末、車を運転しているときに、子を持つ親の次のような話をラジオで聞いた。「学校からは、いろいろと子どもの『良い』話を聞かされ、通知票もほとんど5や4なので、子どもの勉強では安心してた。ところが、最近になって『塾に行く』というので行かせたところ、塾の先生から、『成績はよくない。テストでは点数が取れない。』と言われた。事実、その通りで、テストの点はどれも低く、大変、ショックを受けた。今は、早く気付いてよかったと思っているが、でも、学校の成績が塾では通用しないという現実、本当にこれでよいのでしょうか。」

ゲストティーチャーは、学校と塾の目的の違いや絶対評価の意図、子どもをほめながら育てようとする今日の指導姿勢など、それなりに当を得たコメントをしていた。しかし、私は、子に寄せる「親なればこそ」の心理と絶対評価の下で自分の教える子に熱意を注ぐ「教師なればこそ」の心理にも思いが巡り、何か無念さに駆られた。そして、「学校の成績が塾では通用しない」は極端にしても、放送の親の話から、大きく2つのことを思った。1つは、「どのような子どもを育てたいのか」についての社会的合意の必要性、もう1つは、1つ目とも絡む長期的スパンでの子の成長で見る教育評価の必要性である。残念ながら、今の日本では、自分の教え子がどのような大人になっているかを知るデータはない。

「どのような子どもを育てたいのか」の教育観の確立は、教師個々の機能上も大切である。落合幸子茨城県立医療大学教授の次の話は、端的にそのことを示す。「私は、ずっと『面白い授業をする』ことを目標にしてきた。それが40代に入って、『アイデンティティを育てる』という目標ができた時、自分の中に驚くべき変化が起きた。自分の授業者としての姿勢が確立したと感じ、研究者としても、人間としても安定した。」落合教授の話は、また、「教育の体系は、一人の教師の体系になる」ことも教えてくれている。

さて、平成18年度、市教育センターが担い、果たした役割は、実に多く、多様である。それは、取りも直さず、学校、市民がセンターに寄せる期待と信頼の大きさに他ならない。今や、市の教育推進に欠かせない存在である。私は、取り分け、「どんな子どもを育てようとするのか」への教師個々の、学校と市民間の教育観の確立、合意づくりに果たす役割を重要視し、期待している。



18年度事業運営の総括と展望

柏崎市立教育センター

1 はじめに

景気の回復は依然として低迷し多くの社会不安を招いている現在、教育界においても問題が山積している。教育基本法の改正や教育再生会議が行われて教育へのこ入れが試みられている中で、喫緊の課題は児童生徒のいじめによる自殺の防止であり、いじめ問題を解決することである。また、軽度発達障がい児童生徒の増加に伴い、よりきめ細かな特別支援教育への対応が大きな課題となっている。そして、学力の向上やより豊かな人間形成を目指す小中学校の教育において、学校のあり方や教師の指導力がこれまで以上に問われている。

このような中において、当教育センターは教職員研修と教育相談を事業運営の2本柱として実施してきた。多忙を極める学校現場の要請に応えるべく事業遂行の努力は惜しまなかったつもりで、一定の成果はあったものと捉えている。しかし、限られた人員、予算、施設等の中では、必ずしも十分に満足してもらえない面も見られた。豊かな人間形成と住みよい社会の確立を目指す学校教育を充実させるには、何といたってもこれまで以上に教職員一人一人の資質の練成と指導力の向上が大きく期待されることである。これまでの実績と利用者の意見等を元に今年度事業の総括を行い、今後の事業の方向を探りたい。

2 全体の参加・利用総数は前年度より少し増加の見込み

18年度教育センター事業の参加利用総数は1月末現在約2万件弱で、3月末までに昨年度の実績(20,580件)を若干上回るものと予想される。このうち、教育研究班と視聴覚ライブラリーで参加・利用数が少し減り、科学技術教育班の科学の祭典や生物標本展で参加・利用数が増えた。教育相談班ではほぼ前年並みである。視聴覚ライブラリーは職員減のため十分なサービスができなかったことをお詫びしたい。

教職員研修の参加数は、各教科等の専門講座、情報教育研修講座、理科研修講座を合わせて約110講座におよそ2,300人が受講している。また、要請があって学校等へ出向いて行った研修には約800人が参加し、合わせて前年とほぼ同じ3,100人が研修を受けた。これは、郡市の小中学校全教職員が一人平均5回受講したことになるが、学習指導や生徒指導の多様化・個別化の推進が求められて指導力の向上を図るためには、必ずしも十分な数とは言えないであろう。

教育相談班のカウンセリングルーム来室相談は、1月末で前年度の175人を超え年度末には200人以上と予想される。そのうち、いじめにかかわる相談は10件ほどと多くはないが、軽度発達障がいに関する相談が最も多く、学級不適應、不登校などの相談も多い。実際にはこれを上回る多くの相談希望が寄せられているが、現在の体制では限度一杯で数週間待ちの状態である。また、SSTの希望者も多いが指導者が足りずに待機してもらっている。

3 教職員の研修意識の掘り起こしが必要

職能成長としての研修

「教育は人なり」と繰り返し言われるように、現在の様々な教育課題を解決していくためには直接子どもに向き合う教職員の優れた指導力が必要になってくる。初めから優れた指導力を持つ教師がいるわけではなく、経験を積みながら次第に職能成長をしていくものである。教職員研修の大部分が県から市町村に委託されている現在、当センターに求められている責務は極めて大きい。学習指導、生徒指導など多くの課題を解決し児童生徒をより豊かにより確かに成長させるためには、教職員研修を通じた指導力の向上が強く求められている。

多忙を極める学校でも

学校では多忙を極めているために行きたくても研修に参加できないという声が多い。こういう状況の中でも、双方で工夫しながら研修の機会を確保することが必要になる。教育センターとしては授業への影響を極力少なくするために午後3時からの研修を中心にしたり、できる限り夏休み等の長期休業を活用したりする。また、自主的研修やサークル研修など教職員の研修の場を提供するために、勤務時間後に教育センターの施設設備が利用できるよう検討したい。さらに、学校の研修課題に応えたり移動時間のロスを減らしたりするために、学校を訪問して行う出張研修の機会も多くしていく必要があると考えている。

一方参加する側の意識変革も必要である。多くの教職員が研修の必要性を理解しながらも、目の前に山積している公務のために参加できないのが現状であるが、管理職の研修に対する理解と支援が大きく作用するものと考えられる。多忙な校務の中にあっても自己研鑽と指導力の向上を自覚し、計画的・意識的に研修の時間を確保するという一人一人の「研修の意識化」が強く期待される。

手作り研修の推進

研修の内容や持ち方についてはこれまでも様々な工夫をしているが、より魅力があって役に立つ研修を心掛ける。中央の講師をお呼びして新しい動向や指導法を学ぶ研修もよいが、時には地元の教師で作り上げる「手作りの研修」も大切である。講師はもちろん話題提供や協議会も自分たちの力で運営し、お互いに学びあったり連携を深めたりするよい機会である。柏崎市刈羽郡学校教育研究会と連携した研修はこういった運営が採りやすく、既に情報教育研究部などは大きな成果を挙げている。教育センターでは様々な情報を提供したりコーディネータとしての役割を果たしたりしたい。

4 教育相談の人的体制の強化を

カウンセリングルーム

教育相談班のカウンセリング事業は学校現場からかなり頼りにされ、重要な働きをしている事業である。とりわけ、カウンセリングや SST の希望は大変多く予約待ちをしている状態なので、市子ども課育児支援係をはじめ内外の関係機関と連携しながら教育相談を進めるとともに、専門的な相談職の配置増を望んでいるところである。それと同時に、すべてのカウンセリングを教育センターに頼るのではなく、より充実した自校の教育相談体制の確立を目指して、各学校で基本的な対応ができるよう教育相談にかかわる研修を充実していきたい。

ふれあいルーム(適応指導教室)

中学生を中心とするふれあいルームへの通級は、ここ数年 20 人前後の登録数で推移している。個人ごとの学習活動、仲間との遊びや作業、遠足などの特別活動を通して自立の心をつけ、部分的にせよ学校復帰する児童生徒が半数くらい見られる。また、中3生徒の高校受験に対応する個別指導も必要なので、カウンセラーや家庭訪問相談員と連携しながらさらに指導の充実を図っていきたい。

学校訪問相談

生徒指導にかかわる事例検討や指導上の悩みの相談など、学校の教育相談体制を支援していく。定期訪問の相談回数や要請訪問については、学校の実情に合わせて柔軟に対応していきたい。また、より適切な助言ができるよう相談員の研鑽に励みたいと考える。

SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)やピアサポート活動

今年度大きな問題となったいじめによる自殺問題の根本は、対人関係調整能力の不足にあると考えられる。教育相談班では、この対人関係調整能力の向上を小グループで「いろいろ体験グループ」(SST)として訓練したり、同年代の仲間の支え合いを強化するピアサポート活動を推進したりして成果を挙げているので、限られたスタッフのなかでできる限り努力したい。

5 理科離れを防ぐ科学技術教育班の事業

科学技術教育班では、教職員の理科研修とともに理科に関する児童生徒対象の事業にも重点をおいて実施してきた。科学クラブなどの指導支援、科学の祭典、自然観察会、生物標本展、科学研究発表会などの実施である。科学研究発表会は意欲付けがうまくできないなどの理由でこれは必要かという意見が見られたものの、これらの事業はいずれも児童生徒の科学への関心を高め、科学作品展や科学研究への取り組みに意欲が見られたなどの肯定意見が多く寄せられた。

児童生徒の自然への興味関心を高め、科学の芽を育てる趣旨から科学研究発表会を含めて児童生徒対象の事業は継続していきたい。ただし、学校業務多忙のためか教職員の理科離れも感じられるので、指導方法等についての研修を充実して理科指導力の向上を図るとともに、できる範囲で児童生徒の直接支援にも当たりたいと考えている。

6 機材・教材の貸出を中心とする視聴覚ライブラリー

職員減で十分なサービスができず約千件の利用減になった。しかし、利用した人からは大変助かるという声が多く寄せられている。教材・機材の貸出ではより効率的にできるよう工夫しているので、利用の仕方についてPRをしていく。今後も教材や機材の貸出を中心に、より皆様の役に立つよう努力していきたい。

7 教育センター事業への人材活用の検討

教育センター事業の成果をより大きなものにするには、何といっても人材の確保が重要である。しかし、厳しい財政事情の中では教育センター職員増は容易なことではない。そこで、教職を退いた方々から教育センター事業の補助をお願いすることを検討したい。団塊の世代の退職教員をはじめまだまだ元気な人が多いし豊かな経験を生かした社会貢献にもつながるものと考ええる。僅かな報酬になるであろうが奉仕の心で時間または回数の契約でお願いしたい。

具体的にお願したい業務は

- ・ 若手教職員を対象とする基礎的な研修の講師
- ・ 指導技術のワンポイント研修の講師
- ・ ふれあいルームの指導補助 等々

退職教員の関係団体と相談をしながら、可能なことから実現できるよう検討を進めたい。

8 教育の情報化の推進

教職員の個人メールアドレスの活用

前年度に教職員個人メールアドレスが整備され、本年度からメールによる研修講座案内、e-GALILEIの定期配信などの運用を始めた。効率的で大変便利という声が多い中で、運用初年度のためか多くの意見要望が寄せられたので、このシステムの周知を図りさらに活用を推進していきたい。

教育情報支援システムの運営・所報「ガリレイ」の発行と配信

教育情報支援システムでは、各教科等の新しい指導教材や地域に密着した教育情報、研修講座のテキスト等の発信を行う。また、所報「ガリレイ」では、事業の実施記録という意味もあるので内容が多くなりがちではあるが、教育センター・育成センターの新しい情報を発信していきたい。



平成 19 年度教育センター運営の基本方針

1 基本方針

これからの柏崎の教育の在り方を見据えながら、学校や地域・保護者の期待や要請に応える教育の相談・指導・支援に関する事業を充実する。とりわけ、教職員研修と教育相談を事業運営の 2 本柱として事業を展開する。

2 事業運営の方向

- 1 教職員研修講座の内容・方法を工夫し、研修意識の高揚を図る
山積する教育課題に的確に対応し、職能成長としての教職員の指導力向上を図るために、教職員研修講座の内容・方法を検討して受講しやすい環境を整備するとともに、教職員一人一人の研修意識の掘り起こしを進める。また、柏崎刈羽学校教育研究会と実質的な連携をして、より身近で実践的な手作りの教職員研修を作り出す。
- 2 教育相談体制の充実を図るとともに、学校の相談体制を支援する
児童生徒の悩みや問題行動の予防と解決を目指して、学校や家庭が主体的に取り組むことができるよう、関係機関と連携しながら専門的な相談・指導・支援の体制の充実を図るとともに、各学校の相談体制を充実するための支援や研修を推進する。
- 3 教育の情報化をより推進する
教育ネットワークの整備と活用を進め、教育センター事業の理解と協力を得ながら利活用の促進を図るとともに、教育に関する新しい情報の発信をする。

3 実施事業の重点

- 1 各教科、各種教育等の専門研修講座
 - ・ 主体的に参加する研修、今日的課題と特色ある講師の招聘、教育研究会等との共催による専門研修講座
 - ・ 特別研修、調査研究、教科研修員、教科書センター運営等
- 2 情報教育及び教育の情報化に関わる教職員研修
 - ・ 情報教育の指導・活用、校務の情報化講座、情報教育に関する相談支援
- 3 教育相談事業
 - ・ ふれあいルーム(適応指導教室)の運営、カウンセリングルームの教育相談活動、学校訪問相談、家庭訪問相談
- 4 科学技術教育の振興と啓発事業
 - ・ 教職員理科研修、自然観察会、科学作品展、科学研究発表会、科学の祭典、研究奉仕活動
- 5 視聴覚教材・機材の提供
 - ・ 視聴覚教材、機材の貸出と利活用相談、視聴覚機材研修会等
- 6 広報活動
 - ・ 教育情報支援システムの運用、教職員個人メールアドレスの活用
 - ・ 所報「ガリレイ」の発行と配信



アクセス

No.68	平成 19 年 3 月 9 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	-------------------	------------	--



柏崎市地域素材デジタルコンテンツ

今年度、教育研究班では柏崎市の地域素材をデジタル化する調査研究活動を行いました。

新しい素材データを収集するほかに、あちこちに埋もれていたり散らばっていたりしていた写真や映像をデジタル化しました。小学校で活用されている社会科副読本「わたしたちの柏崎」の内容を補完し、毎日の授業で利用することをねらいとしています。作成には小学校の先生方3名から協力していただき、1年間かけて内容の検討や素材データの収集を行いました。まだまだ授業で活用するには十分とは言えませんが、今後もデータの収集と整理を行いながら、より充実したコンテンツに育てていきたいと考えています。

先日から教育用コンテンツサーバーでの公開を開始しました。

インターネット上でオープンなアクセス環境を実現している柏崎市教育情報支援システム (<http://kedu.kenet.ed.jp/>)とは異なり、教育用ネットワーク内の閉じたネットワーク環境でのみアクセス可能なサーバーとなっています。今まで「ファイルサイズが大きすぎる」「共有すると便利だけどインターネット上で公開するのは・・・」と思われた教材などを提供します。

この機会にぜひご覧になってください。



ア ク セ ス 方 法

ブラウザを起動して、右のように直接アドレス欄に入力して Enter キーを入力してください。

(教務室系とPC教室系からアクセスできます)



目次が、わたしたちの柏崎と一致しているので、対応させながら使うことができます。

1 わたしたちの市のようす

- (1) 柏崎市の広がり
- (2) 市役所の屋上から見える柏崎市の様子
- (3) 柏崎市の様子
- (4) 地いきの公共施設

2 地いきの人々の仕事

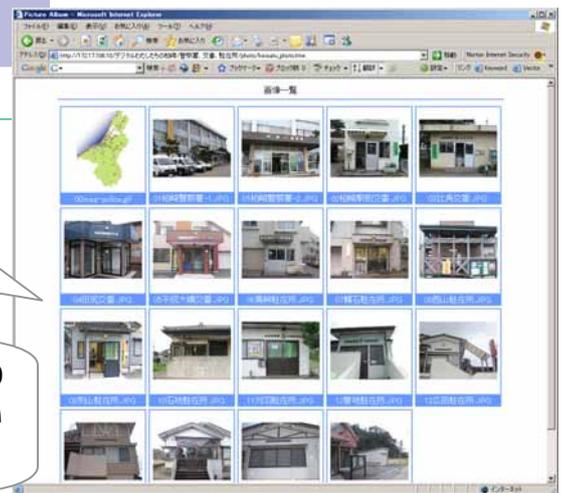
- (1) 農家の仕事
 - ▶ カントリーエレベーター
- (2) 工場の仕事
- (3) 商店の仕事

3 安全なくらし

- (1) 事故をふせぐ
 - ▶ 警察署、交番、駐在所

画像の一覧が表示され、クリックするとより大きな画像を表示します。

写真や動画など、全部で700以上の素材が登録されています。



収録素材一覧

素材分類		形式	素材数
カントリーエレベーター		写真	4
警察署、交番、駐在所		写真	18
		PDF	1
消防署		写真	2
中越地震		写真	22
平成 18 年 6 月 28 日水害		写真	48
赤坂山浄水場		写真	133
		動画	2
川内ダム・水源池		写真	56
		動画	2
赤岩ダム		写真	30
クリーンセンター		写真	51
		動画	2
リサイクルセンター		写真	39
夏渡最終処分場		写真	12
不法投棄		写真	47
えんま市のごみ		写真	3
昔のくらし	子ども	写真	41
	スポーツ	写真	12
	乗り物	写真	10
	働く	写真	39
	戦争	写真	21
	まちなみ	写真	43
	ちょっとだけ前のまちなみ	写真	14
	道具	写真	12
藤井ぜき		動画	2
史跡名所めぐり		動画	2
綾子舞		動画	2
しげさ		動画	2
観光紹介		動画	2
福浦八景		写真	64
聖が鼻		動画	4
谷根川のさけ		動画	2

コンテンツサーバー情報

サーバー内コンテンツの利用に関する注意(重要)

登録されているコンテンツは、柏崎市立の小中学校における教育活動にのみ利用許諾を頂いているものがあります。データをダウンロードすることはかまいませんが、それをコピーして校外に持ち出したり、教育目的以外に利用したりすることは厳禁です。

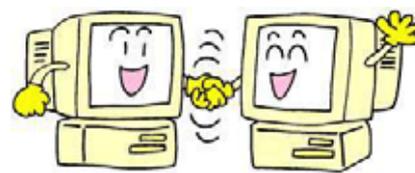
サーバー内の主なコンテンツ

ここまで紹介してきた「デジタルカシワザキ -わたしたちの柏崎-」の他にも、現状で次のような情報が登録されていますので、併せて活用してください。

「アクションプラン 情報教育活動アイデア集-」
「環境・エネルギー教育プログラム」同 (PDF 版)
視聴覚ライブラリビデオ教材

これらはいずれも支援システム上からもご覧いただけます。データサイズが大きい情報もありますので、便宜上こちらにも登録しました。

- ・自作教材： すこし古いですが、現在でも貸し出しのある自作教材ビデオを登録しました(一部、デジタルカシワザキにも同じものが登録されています)。
- ・マーチングバンド関連： 毎年問い合わせの多い、ぎおんまつり際のビデオ映像をマーチングバンド研究会より借用し、デジタル化して登録しました。また、講習会の様子についても、講師の許可を頂いて登録しましたので、活用願います。



サポート情報

光村「国語デジタル教科書」の不具合について

光村図書より、一部のウイルス対策ソフトによって国語デジタル教科書がウイルスとして誤って検出される事例が確認されたとの情報が入っています。Symantec AntiVirus、Norton Internet Security2007 を使用している環境において、小学校版1年の上・下を使用する場合に発生する場合があります。教育センターにこの問題を修正するバージョンアップ CD-ROM が届いておりますので、必要な場合にはお問い合わせください。

WindowsVista から LANDISK にアクセスできない現象について

WindowsVista からパスワード設定されている LANDISK 等の NAS にアクセスできないという現象が発生しています。これは Vista ではネットワーク認証のセキュリティレベルが上がったためであり、レベルを落とすことでアクセス可能となります。

- i) Vista が Business、Ultimate なら、コントロールパネル->管理ツール->ローカルセキュリティポリシーを開き、ローカルポリシーのセキュリティオプションから、「ネットワークセキュリティ:LAN Manager 認証レベル」をダブルクリックして開き、「NTLMv2 応答のみを送信する」から「NTLM 応答のみを送信する」に変更します。
- ii) 上記の項目が見つからない場合は、スタートボタンから、すべてのプログラム->アクセサリ->ファイル名を指定して実行 を開き、「regedit」と入力して「OK」をクリックします。レジストリエディタが開きますので、HKEY_LOCAL_MACHINE->System->CurrentControlSet->Control->Lsa に移動し、LmCompatibilityLevel を開いて値のデータを 3 から 2 に変更します。

ただしこれら作業は、Windows Vista が本来持つセキュリティの強固性を、一部以前の Windows レベルに下げることになりますので、その点をご了解の上、設定してください。

また、この件の情報は以下の BUFFALO のサポートページの b7 にも記載されていますので、参照してください。

<http://qa.buffalo.jp/eservice/esupport/consumer/esupport.asp?searchtype=normal&id=BUF7122>

セキュリティ情報

■ セキュリティホール情報

マイクロソフトより、2月14日付けで2月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急WindowsUpdateなどを実施していただくようお願いします。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-005 Windowsの重要な更新	ステップバイステップの対話型トレーニングの脆弱性により、リモートでコードが実行される (923723)	Windows2000,XP, 2003Server	Win	重要
2	MS07-006 Windowsの重要な更新	Windows シェルの脆弱性により、特権が昇格される (928255)	WindowsXP, 2003Server	Win	重要
3	MS07-007 Windowsの重要な更新	Windows Image Acquisition サービスの脆弱性により、特権が昇格される (927802)	WindowsXP	Win	重要
4	MS07-008 Windowsの重要な更新	HTML ヘルプの ActiveX コントロールの脆弱性により、リモートでコードが実行される (928843)	Windows2000,XP, 2003Server	Win	緊急
5	MS07-009 Windowsの重要な更新	Microsoft Data Access Components の脆弱性により、リモートでコードが実行される (927779)	Windows2000,XP, 2003Server	Win	緊急
6	MS07-010 マルウェア対策エンジンの重要な更新	Microsoft Malware Protection Engine の脆弱性により、リモートでコードが実行される (932135)	Live OneCare, Windows Defender など	Win	緊急
7	MS07-011 Windowsの重要な更新	Microsoft OLE ダイアログの脆弱性により、リモートでコードが実行される (926436)	Windows2000,XP, 2003Server	Win	重要
8	MS07-012 Windowsの重要な更新	Microsoft MFC の脆弱性により、リモートでコードが実行される (924667)	Windows2000,XP, 2003Server, VS.NET 2002/2003	Win	重要
9	MS07-013 Windowsの重要な更新	Microsoft リッチ エディットの脆弱性により、リモートでコードが実行される (918118)	Windows2000,XP, 2003Server, Office2000/XP(SP3)/ 2003(SP2)/2004 for Mac など	Win	重要
10	MS07-014 Wordの重要な更新	Microsoft Word の脆弱性により、リモートでコードが実行される (929434)	Word2000/XP/2003, Works Suite, Office2004 for Mac	Office	緊急
11	MS-07-015 Officeの重要な更新	Microsoft Office の脆弱性により、リモートでコードが実行される (932554)	Office2000/XP(SP3)/ 2003(SP2),2004 for Mac など	Office	緊急
12	MS07-016 Internet Explorer の重要な更新	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (928090)	Internet Explorer 5.01/6/7	Win	緊急

Win は WindowsUpdate, Office は OfficeUpdate から更新を実行します。

なお、Office が 2002(XP)以降なら MicrosoftUpdate を利用すると、まとめて実行することができます。

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

プロジェクトA

(科学技術教育班だより)

第19回柏崎市刈羽郡学校教育研究会教職員理科研究発表会

日時 2月7日(水)
会場 柏崎市立教育センター
内容

第1部 柏崎刈羽地区の先生方の理科の研究実践発表 小学校部会

- 西山 晴美 先生(槇原小)
「電流のはたらき」の学習指導の工夫
永野 義明 先生(枇杷島小)
室内で条件を整えた流水実験の工夫
5学年「流れる水のはたらき」の実践から
飯塚 崇弘 先生(田尻小)
4年理科「ものあたまりかた」の一実践
近藤 亜矢子 先生(野田小)
6学年「大地のつくりとはたらき」の実践
科学的な見方、考え方の向上をめざして

中学校部会

- 本間 裕史 先生(東中)
個に応じた指導の在り方
到達度テストを活用した習熟度別学習
大貫 佳代 先生(鏡が沖中)
フリーソフトを活用した授業の実践
小林 寿 先生(南中)
生徒に「分かった!」を実感させるための理科授業づくり
電流分野におけるモデル教材の活用

小学校部会は山本甚一校長先生(柏崎小),中学校部会は加藤淳一先生(市教委管理兼指導主事)から,指導・講評をいただきました。



第2部 理科講演 「これからの理科教育の展開と課題」上越教育大学教授 藤岡達也 様

OECDの国際学力調査の結果をふまえ,国語力の育成や理数教育の充実の必要性について,そして理科では習得型の学習や探究型の学習の両立が必要だという今後の教育の動向についてお話しいただきました。

さらに,従来の理科授業の枠組みにとらわれず,STS教育(Science-technology-society)の視点から,地域素材を総合的に学習するカリキュラムづくりの大切さを,実践例を交えて,分かりやすく教えていただきました。



1ヶ月早い春 ... (3月4日撮影)

暖冬の影響で、柏崎にも1ヶ月早い春が訪れました。
身の回りの足元に目を向けてみるのはいかがでしょうか。



フキ



ノボロギク



タネツケバナ



セイヨウアブラナ



ヒメオドリコソウ



フクジュソウ



オオイヌノフグリ



雪割草(オオミスミソウ)



雪割草(オオミスミソウ)



雪割草(オオミスミソウ)



雪割草(オオミスミソウとスハマソウの中間種)

平成19年3月6日

心の窓 (教育相談班だより)

93

柏崎市立教育センター〒945 0833 柏崎市若葉町2番31号

(代表) 23 - 4591

(Fax) 23 - 4610

18年度総括～教育相談班～

教育相談班の本年度の活動



<ふれあいルームの活動>

2月28日(中学3年生通級最終日)11人の生徒が巣立っていきました。

(3月6日が卒業式なので、その日は学校から巣立って行って欲しいという願いを込めて2月いっぱい通級を終了し、3月からは学校との連携を密にして卒業式に備えます。)

学校に戻っている生徒も多くて2月28日の3年生の通級人数は多くはありませんでしたが在級生が卒業を祝う会を企画してくれました。前日からどんな内容をするかを決め準備をしました。卒業生を送ろうという気持ちを前面に出して頑張った在級生や、思い出を語る3年生を見ながら一人一人が成長したなあと思いました。

思い起せば4月は12人の登録者でスタートしました。学校に登校し出した生徒も多く、通級生が一人も来ない日や一人だけという日が続きました。徒歩遠足は中止せざるを得なくなり5月のバス課外活動は9月に延期しました。現在は22人の登録者と何人かの試験通級生がいます。(2月末現在)

構成メンバーが一人変わるだけで雰囲気が変わるのですが、今年度は、マイプランタイム(個人の学習の時間)に自分の計画に従い集中して学習することのできる生徒が多くいました。今、自分の考えをきちんとと言えるような子どもが増えていること、それぞれが違う目的をもって来ているふれあいルームですが子どもたちがまとまってきたことは嬉しいことです。

(ふれあいルーム 矢嶋信昭)

<家庭訪問相談>

今年度は、小学生1名、中学生3名の計4名に対して家庭訪問相談を行ってきました。まったく外に出られないとか、まったく人と接することができないというケースはなく、それぞれが、ふれあいルームの指導員や友だち、カウンセリングルームの先生、塾の先生、それから学校の友だちや先生などに関わりを持ちながら過ごすことができ、人と関わることによって起こる気持ちや表情の変化を目の当たりにした一年でした。

一方で、そういった人との関わりを持ちながらも、やはり家にいる。家にいることで、自分の何か大事なものを守っている、あるいは、家族の危機を救っている、といわざるを得ないような気持ちになることもあります。家にいる彼らは、何もしていないように見えるかもしれませんが、実は、日々葛藤し、悩んでいるからです。そこから一歩を踏み出すのは、やはり他人との接触の中から何かを感じ、学び、それを自分の力にできた時ではないでしょうか。

卒業の季節です。心の面では学校に行っているみんなと同じくらいがんばった一年間です。胸を張って、進級、そして卒業・進学を迎え、いつか来る“一歩”を堂々と踏み出してほしいと願っています。

(家庭訪問相談員 山田千春)



< 教育電話相談 >

子育ての最終的な目的は子どもの社会的、精神的自立と考えますが、それまでに親としてどうあるべきか、何をすべきか、思いや迷いは多いものです。

今年度の教育電話相談の利用件数は34件(2月末現在)と昨年度より減少したものの、学校生活の不適応やいじめなど、電話相談から、お子さんの状況改善に繋がった事例も多く、子どもさんのあらゆる心配事について、匿名で相談ができる教育電話相談の重要性を感じています。

ある電話相談の保護者は、担任の先生から「落ち着きがなく集中できない。家庭でも指導してほしい」と、お子さんの問題行動とともに連絡を受けましたが、家庭では特に問題はなく、どのようにしてよいか困惑されていました。親失格であるように受け止め、自信をなくした保護者の辛い思いを十分お聴きするとともに、お子さんの来所相談により心理検査を実施、お子さんの状態と特性を理解していただきました。また、保護者自身が検査結果を学校に伝え、お子さんへの対応について複数の先生方と話し合いが持たれ、その後も、保護者と学校と認識を共有し、話し合いによる、お子さんへの対応が継続しています。

大事な子育ての一つに、安全と守られ愛されているという安心感を与え、子どもの自信を育むことがあります。親もまた、同様ではないでしょうか。相談電話は苦しみや怒りや悲観から始まります。電話をくださったことに感謝し、思いを聴くことで、親御さんは自ら状況改善のため行動します。完璧な人などどこにもいません。親御さんが子育てに自信を持てるよう、安全と安心感を伝えられる教育電話相談であるよう努めていきたいと考えています。(文責 本間良子)

< カウンセリングルーム >

カウンセリングルームの今年度の相談内容は、ここ数年の傾向同様、軽度発達障害に関する相談が最も多く寄せられました。ついで、不登校、学級不適応、情緒・精神の失調の順となっています。件数自体は、昨年度(149人、515件)と比較して約30%の増加となっています。相談事例の中には、本人や保護者が精神疾患を有するケースや、ネグレクト等虐待を伴うケースなど、要保護児童も数多く含まれており、医療機関や福祉機関との緊密な連携を要する例が増加しています。

また、ルームへの相談以外にも、就学相談への協力、研修講師依頼(軽度発達障害に関する内容、災害事件事後後の心のケアに関する内容、児童虐待に関する内容、ほか)、ピアサポーター養成研修講師依頼(一中、五中)等にも対応してきました。

カウンセリングルームの相談内容別面接件数(H18年4月1日~19年2月末まで)

項目 件数人数	軽度発達障害	不登校	学級不適応	情緒・精神の失調	親子関係	家庭内暴力	いじめ	非行	その他	合計
面接回数 (件)	252	214	54	24	10	1	2	0	22	579
相談人数 (人)	110	60	8	8	2	1	2	0	5	196

教育相談班3月の予定

* ふれあいルーム 7日(水)ソフィアセンター行き 22日(木)通級終了日

<お知らせ> アンケートのご意見にもありましたが、「心の窓」はセンター所報「ガリレイ」の中に載っていますので4月号からは各学校への配布はしないことになりました。ガリレイをご覧ください。(「柏崎市教育情報支援システム」<http://kedu.kenet.ed.jp/> をアクセスしてください。)

プラNET

柏崎市立教育センター
視聴覚ライブラリー

945-0833 柏崎市若葉町2-31
TEL・FAX 0257-23-1168

平成18年度 第8号

2007.3.6

URL <http://kedu.kenet.ed.jp/> から教材を検索できます。
(ゲストをクリックして「視聴覚教材DB」を選択)

E-mail kasikari@coral.ocn.ne.jp

今年度もたくさんのご利用
ありがとうございました!



日に日に暖かさが増し本格的に春の訪れを感じる頃になりました。早いもので平成18年度も残すところあと一月足らず、新年度に向けて慌ただしい時期となりましたが今年度最後の視聴覚ライブラリー通信「プラNET」をお届けします。

2月末現在、貸出状況は下記のようになっています。たくさんの教材・機材をご利用いただきまして大変ありがとうございました。来年度もご利用お待ちしております。

- | | | |
|---|-----------------------------|---------------------------|
| 1 | プロジェクタ・16ミリ映写機・スクリーンなどの機材貸出 | 552回 |
| 2 | 教材貸出 | |
| | 学校教育関係 | 325本(VHS 323・16ミ 1・DVD 1) |
| | 社会教育団体 | 281本(VHS 135・16ミ 146) |

H18 教材貸出ランキング 利用の参考にどうぞ!

学校教育用教材(ビデオテープ)

	管理番号	タイトル	回数	備考
1	V06-006	炎の証言 - 戦争と子どもたち -	5	小学校・社会
2	V02-028	草花のそだち方とからだのづくり	4	小学校・理科
2	V06-017	昭和(1)戦争と国民生活	4	小学校・社会
2	V06-025	天下の統一 織田信長・豊臣秀吉	4	
2	V06-037	明日への伝言～語りつぐもの～	4	
2	V07-022/023	交通事故を防ぐ仕事/火事を防ぐ仕事	4	
2	V09-123	心の健康とストレス対処	4	中学校・保健
2	V15-087	凶器にも変わる携帯電話 - 中高生の自己防衛 -	4	
3	V01-015/016	からだのづくりとはたらき /	3	小学校・理科
3	V02-027	昆虫のそだち方とからだのづくり	3	
3	V02-035	天気の変化	3	
3	V02-039/040	大地のづくりと変化 /	3	
3	V04-001	地層～聖が鼻～(自作教材)	3	
3	V04-018	土地のづくり 火山のはたらきと岩石	3	
3	V04-023	流れる水のはたらき	3	
3	V06-008	炎の証言 - 最後の空襲 -	3	小学校・社会

人権教育用教材(ビデオテープ)

	管理番号	タイトル	回数	備考
1	V15-078	明日天気になあれ - 元気配達人・松村智広 -	4	
2	V15-063	ドキュメンタリー 結婚	3	
2	V15-064	いのち輝く灯	3	
2	V15-070	渋染一揆～明日に架ける橋～	3	

社会教育用教材（ビデオテープ）

	管理番号	タイトル	回数	備考
1	V31-029	柏崎グラフィティ	8	
1	V23-011	林家木久蔵師匠の高齢者交通安全物語	8	交通安全教育
2	V40-036	じごくのそうべえ	6	アニメーション
3	V40-031	おばけ長屋	4	
3	V09-106	忍たま乱太郎の自転車安全教室	4	交通安全教育
3	V09-108	ハム太郎のとっとこ大切交通ルール	4	
3	V09-115	ズッコケ三人組の自転車安全教室	4	

アニメーション（16ミリフィルム）

	管理番号	タイトル	回数
1	040-170	じごくそうべえ	8
2	040-071	アンパンマンまじょのくにへ	7
3	040-138	新、泣いた赤おに	6
4	040-141	おむすびころりん	5
5	040-146	さるかに合戦 いじめっこザルと正直カニさん	4
5	040-163	ドナルドダックの朝ごはん	4
5	040-167	プーさんとおおあらし	4
5	040-171	ミイラのラムさん	4
5	040-012	わらしべ長者	4



教材の感想・ご意見をお寄せください！！

ご利用になった教材・機材の感想をぜひお寄せ下さい！新規教材購入のための貴重なご意見にさせていただきます。

教材が古い・画像が悪いなどのご意見やぜひこんな教材を整備して欲しいなどのリクエストもお待ちしております。

感想欄はこちらです→

視聴覚教材等借用申込書		利用者(返却時提出)
団体名	〇〇町子ども会	柏崎市立教育センター 視聴覚ライブラリー
使用者	△△ △△	TEL;FAX: 0257-23-1168
連絡先		取扱時間 月～金 11:00-17:00
借用期間	3/2(金)-5(月)	利用人数(返却時に記入)
利用目的	お楽しみ映写会	
利用場所		
借用教材等	名称	備考
1	V40-031 ビデオ おばけ長屋	
2	V40-034 ビデオ ぼくときどきふた	
3	V40-037 ビデオ 金子みすゞ やさしさの風景	
4	V40-039 ビデオ ちいちゃんのかげおくり	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
感想		
(備考)		

視聴覚ライブラリーからお知らせ！

視聴覚ライブラリーの16ミリ映写機を定期点検しました。これからも安心してお使いいただけますのでぜひご利用ください。なお、昨年度のライブラリー協議会の解散により、保育園や公民館などでお持ちの映写機については各自で点検を行っていただくことになりました。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

3月下旬に新規教材を整備します。「DVD日本の名作童話(全2巻)」などが入荷予定です。詳細は次号「プラNET」にて紹介いたします。お楽しみに！

春は交通安全教育教材の貸し出しが込み合います。映写機材とともに早めの予約をおすすめします。

メールでも教材の予約が可能ですが、確認・返答に少し時間をいただくので急ぎの予約は今までどおり電話でお願いします。

視聴覚ライブラリーのアドレスは kasikari@coral.ocn.ne.jp です。

センター点描



STS 教育って何？

教職員理科研究発表会

柏崎市刈羽郡学校教育研究会の科学教育研究部(田村秀一部長)では、2月7日に教育センターにおいて第19回教職員理科研究発表会を開催しました。理科教員が日ごろの授業実践で工夫改善している指導法や教材開発を発表し、理科教育の振興を図ろうというものです。発表者は4月の学校研総会で選出されましたが、多忙な中でも地道な授業実践を重ねてその成果をまとめるということは、自分の指導力を高める上で極めて意義の大きいことと考えます。発表者各位の努力に心から敬意を表します。



小学校部会では西山晴美(楨原小)、永野義明(枇杷島小)、飯塚崇弘(田尻小)、近藤亜矢子(野田小)の4名の先生が、中学校部会では大貫佳代(鏡が沖中)、本間裕史(東中)、小林 寿(南中)の3名の先生が発表しました。優れた実践の発表に対して、山本甚一柏崎小学校長及び加藤淳一市教委管理兼指導主事から指導と激励をいただきました。

後半は上越教育大学の藤岡達也教授から「これからの理科教育の展開と課題」と題した講演を聞きました。これからの理科教育は環境教育や STS 教育 (Science, Technology, Society の相互関連教育) の視点から展開することが大切だということです。地球環境の悪化を防止するために果たす理科教育の役割は極めて大きいことを強く感じました。

オリオン座から出発だ

冬の星座を楽しむ観察会



2月2日、市立博物館で冬の星座観察会を開催し、106 人もの大勢の親子が参加しました。暖冬でよい天気が続いていたのですが当日はあいにくの曇り空。素晴らしい設備を持つ博物館のプラネタリウムで冬の星座を観察しました。

はじめに、横村俊樹プラネタリウム主任の解説で、オリオン座を取り巻く冬の星座のを見つけ方や神話をお聞きしました。オリオン座の右上に戦う相手のおうし座、その上に戦いを見物するぎょしゃ座、左側に戦いに興味津々のふたご座、その下に家来

のこいぬ座、さらに下がってもう一匹家来のおおいぬ座という具合です。おうし座のプレアデス星団(すばる座)やオリオン座の M42 大星雲、冬の大三角など映し出された見事な星座と楽しいお話にあっという間に時間が過ぎてしまいました。

後半は柏崎天文同好会の松村昌明会長の宇宙に関するお話やクイズで楽しみました。子ども図鑑ソフト「宇宙」を使って映像を写しながら分かりやすく説明していただきました。参加者の子どもたちの希望で、主に彗星と流星、太陽系の惑星などについて解説していただきましたが、宇宙の膨大な時間と空間を自分なりに感じ取っていたようです。

あたたかい言葉

教育相談班
カウンセラー助手 松田 典子

もうかなり前になりますが、どんな人にもできるだけあたたかい言葉をかけていこうと心に決めた時期がありました。そのきっかけとなったのが、養護施設や福祉サービスの仕事を通してでした。

当時、私が仕事で関わる人たちは、病気や障がいのある人、高齢者など弱者といわれている人たちでした。仕事についたばかりの私は、まだ高齢者や障がい者の理解も不十分だったのです。そんなある夏、連日の暑さで仕事をする気のないまま、目が不自由(全盲)な方の自宅を訪問した時のこと。玄関の戸を開けて、いつものように挨拶言葉を交わし仕事を始めて間もなくでした。突然目の不自由な方は、私のやる気のなさをずばり言い当てたのでした。その時は驚きというより恥ずかしさが先立ち、思わず暑さや体のだるさが吹き飛んだ瞬間でもありました。私は、その方が毎回訪問を楽しみ待っていることを知りながら、声を掛けて適当に仕事をすればいいや、くらいにしか思っていなかったからです。目の不自由な方は、私の話し方や声のイントネーション、動作の気配を耳で感じ取りながら、いい加減な仕事ぶりまでも見抜いたのでした。この出来事で、声や言葉、仕草の気配からも気持ちが伝わることや、当然のことですが仕事を丁寧にすることを学びました。

また、ある認知症と診断された方は「ぼけていると思って勝手なことばかり言って」と、周囲の心無い言葉に悔しさや寂しさをポツリ…。認知症と診断されたことで身内から邪魔者扱いされていたのでした。ふとした瞬間に辛い胸の内を言葉にしなが、次第に心を閉ざしていったのです。この方を通して感情は年齢や病気に関係のないことに気付かされました。最近、ある精神科医が人間の前頭前野は年齢と共に衰えていく。前頭前野にある感情も老化するが、それは感情のヒントロールが効かなくなるだけで、感情そのものは失われることがないと言っていました。どんなに重度の認知症や超高齢者にも、尊厳して感情を害さない言葉遣いが大切だということです。

ある障がいを持っている子は、他者の心無い言葉にどれだけ傷つけられても上手く言い返すことができません。言い返せない分、抵抗や拒否という行動で悔しさを表現するのです。本来は、障がいがあるとか無いではなく、誰もが嫌な言葉や酷い言葉を言われたら、腹が立ったり、悲しくなったり、時には心に傷を負うこともあります。逆に、励まみや、いたわり、感謝などの優しい温かな言葉を掛けられると、嬉しさや喜び、安心感で心が満たされることを知っています。すると、あとは実践していくのみだと思ったのです。

こういった体験から、どんな時もどんな人に対しても、できるだけ相手が、快い感情を持てるような言葉を使おうと思ったのでした。人生で出会う人やかかわる人を一生で考えると、その多くが一時的、もしかすると一瞬なのかもしれません。そう思うと、やはり人とのかかわりにおいて言葉はとても大切だと思うのです。あたたかな言葉がいろんな所で聞かれるようになったら、温暖化ではなく心のあたたかい社会になるような気がします。

平成18年度

3月の予定表

柏崎市立教育センター

日 曜	研 修 ・ センター行事 ・ 会 議	学 校 訪 問	出 張 ・ その他関係事業
1 木		中通小学校(赤) 15:30～	就学指導委員会反省会(分館:小林) 15:30～
2 金	ふ・ふれあいルーム保護者会 18:30～	北条南小学校(中) 15:30～ 新道小学校(赤) 15:30～	出・県センター出張(植木) *退職校長会常任委員会 13:30～(第一研修室)
3 土			
4 日			
5 月	所内会議 13:00～	北条北小学校(中) 15:30～	
6 火		高柳小学校(中) 15:30～ 内郷小学校(赤) 15:30～	第五中学校卒業式出席(小林) 10:00～
7 水			
8 木		石地小学校(赤) 15:30～	ガリレイ3月号発行
9 金		門出小学校(中) 15:30～	
10 土			
11 日			
12 月			
13 火			*学校保健研究部会講演会 15:30～(多目的研修室)
14 水			出・県庁出張(小林) 15:00～ *セキュリティ委員会 15:00～(多目的研修室)
15 木			
16 金		二田小学校(赤) 15:30～	出・上越市出張(植木)
17 土			
18 日			
19 月	所内会議 13:00～		
20 火			出・県センター出張(植木)
21 水			
22 木	ふ・通級終了日		
23 金			小学校卒業式告示(副所長・小林・中野) AM
24 土			
25 日			
26 月			
27 火			
28 水			定例教育委員会(所長)
29 木			第一中学校キャリア研修(一中:小林・松田) *退職校長会 13:30～(第一研修室)
30 金			
31 土			
<p>今月の催し</p>		<p>研 = 教育研究班 科 = 科学技術教育班 ラ = 視聴覚ライブラリー 相 = 教育相談班 ふ = ふれあいルーム 訪 = 学校訪問 出 = 出張 (中) = 中村学校訪問相談員 (赤) = 赤川学校訪問相談員 * = センター施設貸し出し</p>	

4 月

1 日		<p>4月の催し</p> <p>参加をお待ちしております!!</p>
2 月		
3 火		
4 水		
5 木		

マンサク



マルバマンサク 07.2.15 赤坂山にて

柏崎では例年 2 月ごろになると、里山の雪の中で春が来る前から一番に咲く花です。そこで、早春に「先ず咲く」が訛って付けられた名前だといひます。また、木の枝全体に黄色い花がびっしりと付いて咲く様子が豊年「満作」のようだからという説もあります。

いずれにしても、花のない真冬の里山であちこちに見られるマンサクの花は、春を待ちわびる雪国の人々にとってとてもうれしい貴重な花です。花季が早いので茶花として珍重されています。花は、長さ 1cm ほどの黄色のねじれたりボン状の花びらを 4 枚付けてとても可愛い花です。



教育センター事業の参加・利用状況(2月)

	研修講座・事業名	2月の 利用数	2月末までの 利用合計数	17年度の 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座	1回 4人	56回 1810人	57回 1,736人	
	学校の要請研修会	0回 0人	5回 25人	14回 260人	
	調査研究員会,教科研修員会	1回 8人	10回 40人	12回 52人	
	教育情報化研修講座	1回 7人	41回 529人	49回 566人	
	情報教育主事の要請支援等	9回 36人	91回 812人	140回 1,253人	
	その他の相談・利用・参加数	2回 3人	38回 67人	54回 150人	
	教科書センター利用閲覧数	1人	412人	431人	
	科学 技術 教育 班	センター研修	0回 0人	12回 173人	26回 267人
		要請研修	0回 0人	15回 365人	20回 922人
地域の自然研修		1回 106人	9回 586人	12回 694人	
科学振興事業		34人	8340人	6,807人	
科学教育支援		22件	267件	92件	
物品貸出		10件	142件	88件	
(教職員研修の合計)		36件	798人		
教育 相談 班		カウンセリングルーム来室相談	新規	14件	196件
	継続		71件	579件	448件
	学校訪問相談		17回	131回	141回
	家庭訪問相談		12回	107回	143回
			4人	34人	37人
	電話相談		2件	36件	46件
	ソーシャルスキルトレーニング		4回	32回	40回
			24人	187人	210人
	ふれあいルーム通級人数	小学生	1人	11人	22人
		中学生	23人	187人	188人
ふれあいルーム通級日数		19日	178日	190日	
同上 学校復帰数(部分復帰を含む)		0人	14人	14人	
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー	16ミリフィルムの貸し出し		30本	147本	190本
	ビデオテープの貸し出し		46本	482本	494本
	視聴覚機材の貸し出し		35台	594台	603台
	編集,借用,相談等の来室者		74人	1043人	1,393人
	機器操作研修会		8人	33人	69人
	親子映写会・児童クラブ映写会		0人	0人	370人
	教育団体, P T A , 市民等の利用		197人	3117人	2,756人
教育センター事業の参加・利用総数		785	20,432	20,580	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、分析と統合との経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

これまで、新しい教育を創り出す私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる検証と気概が必要であるという趣旨から、「がりれお」を発行してきました。この精神を引き継ぎ、平成17年度から「GALILEI」という名称で、教育・育成センターの情報を広く皆様に発信しています。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町2 31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610